

Ichinohe

5

Mar.2008



みんな、初めまして

小鳥谷小学校1年生に初めての授業を行うマーティン先生。「写真は、私のお母さんですよ」(17頁に関連記事)

主な内容

- 特集 あの時代を忘れない——②
- まもなくチャレンジデー——⑩
- 町税の滞納処分行きます——⑪

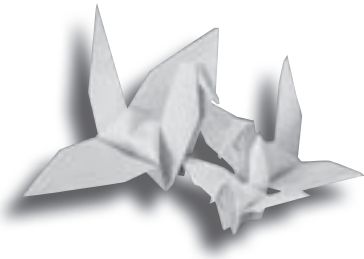
◎特集

あの時代を^と忘^きれない

戦没者追悼式を迎えて、今、残さなければならぬ戦争体験



↑昭和17年、鳥海の稲荷神社で青年学校の軍事訓練を終えた赤屋敷信一さん（左：6ページ参照）と故土川芳太郎さん（右）。当時二人は17歳、幼なじみで無二の親友。土川さんが戦争で帰らぬ人となったことを知ったのは、赤屋敷さんが戦地から引き揚げてからのことだった。



→厳かな雰囲気の中、町長が追悼の言葉を、佐々木康綱遺族連合会長が式辞を述べ、町内各地区の遺族が長い列をつくり、戦没者英霊碑に献花を行った。

平成二十年四月二十三日、

一戸町戦没者追悼式が町民文化センターで行われました。

式典には、遺族やその関係者など多くの人が出席し、諸英霊の冥福を祈り、哀悼の意を表しました。

戦後、日本は奇跡的な発展を遂げ、

世界でも有数の経済大国に発展しました。

物や情報が街中にあふれ、衣食住に不自由の少ない、

平和で、豊かで、便利な暮らしが送れるようになりました。

終戦から六十余年を経て、日本は大きく変わり、

いつしか戦争を知らない世代が多くを占め、

あの忌まわしい戦争は、はるか遠い昔話のようなこと、

他人事ひとごとのように思っている人も少なくないかもしれません。

しかし、貴重な青春を、祖国を守るため犠牲にした人々、

そして、愛する人を失った遺族の皆さんにとって、

あの戦争は六十余年たった今でも、

辛く苦しい思い出であることは変わりなく、

その悲しみは、これからも決して変わることはありません。

今を生きる私たちの務めは、

先人の尊い犠牲や、ゆるぎない努力の上に

私たちの生活、そして命があることに思いを巡らし、

戦争の悲惨さ、平和の尊さを未来へ語り継ぎ、

二度と戦争を繰り返さないことかなのもしれません。

◎特集「あの時代ときを忘れない」

今月の広報では、先の戦争で辛苦を味わった方々、そして、遺族の方々の貴重な体験記を紹介します。



↑佐藤春覚さん（4ページ参照）が学生時代に参加した富士山ろくでの軍事演習。戦争の訓練を行う軍事演習は、学生は全員必修だった。

戦禍が厳しさを増した昭和十八年、東京で学生生活を送る佐藤春覚さんに、学生も出征召集する知らせが入った。八月に卒業を早め、出征の準備のため、一戸の実家へ。その佐藤さんへ秋田県の部隊へ入隊、そして満州北部へ配属するという召集令状が届いた。

十月に入り、身支度を済ませ、一路秋田へと向かった。秋田で一週間ほど宿泊し、列車で九州へと向かった。

「秋田を列車で出発したのは真夜中でした。私には家の都合で家族の見送りはありませんでしたが、家族を戦争へと送り出す人たちが、暗い中、必死に名前を叫び、食べ物やお菓子を手渡していました。私はその声を聞きながら、同郷の家族からいただいたお菓子を食べたことが、今でも忘れられません」と佐藤さんは出征した当時を振り返る。九州から船、鉄道を乗り継いでたどりついた満州では、学校を卒業しているため、幹部候補生として現地の士官学校へ入学、軍事教育を受けた。



自らの正しさを主張するだけでは、争いごとは決して絶えないでしょう

佐藤春覚さん（一戸字北館・89歳）

昭和十八年八月、出征のため、半年以上早く、学生生活を終えた佐藤さん。満州北部へ配属され、幹部候補生として軍事教育を受け、敵国の進撃をくい止める訓練が続いた。南方での戦況不利の知らせを受け、向かった先で見えたものは、火の海と化した母国だった。

満州北部は氷点下四〇度の極寒の地。その地で佐藤さんは小隊長として、訓練を続けた。しかし、当時は敵国との武器や戦力の差は歴然。相手の意表を突き、挺身（捨て身）奇襲の作戦が主流だった。爆薬を手に持ち、敵国の戦車に突っ込む作戦や穴を掘って身を潜め、手榴弾で奇襲する作戦…。部下には、自決用の手榴弾も持たせた。「部下を訓練する私自身、こんな戦況なのかと驚きました」と話す佐藤さん。昭和二十年四月、南方での戦線が危

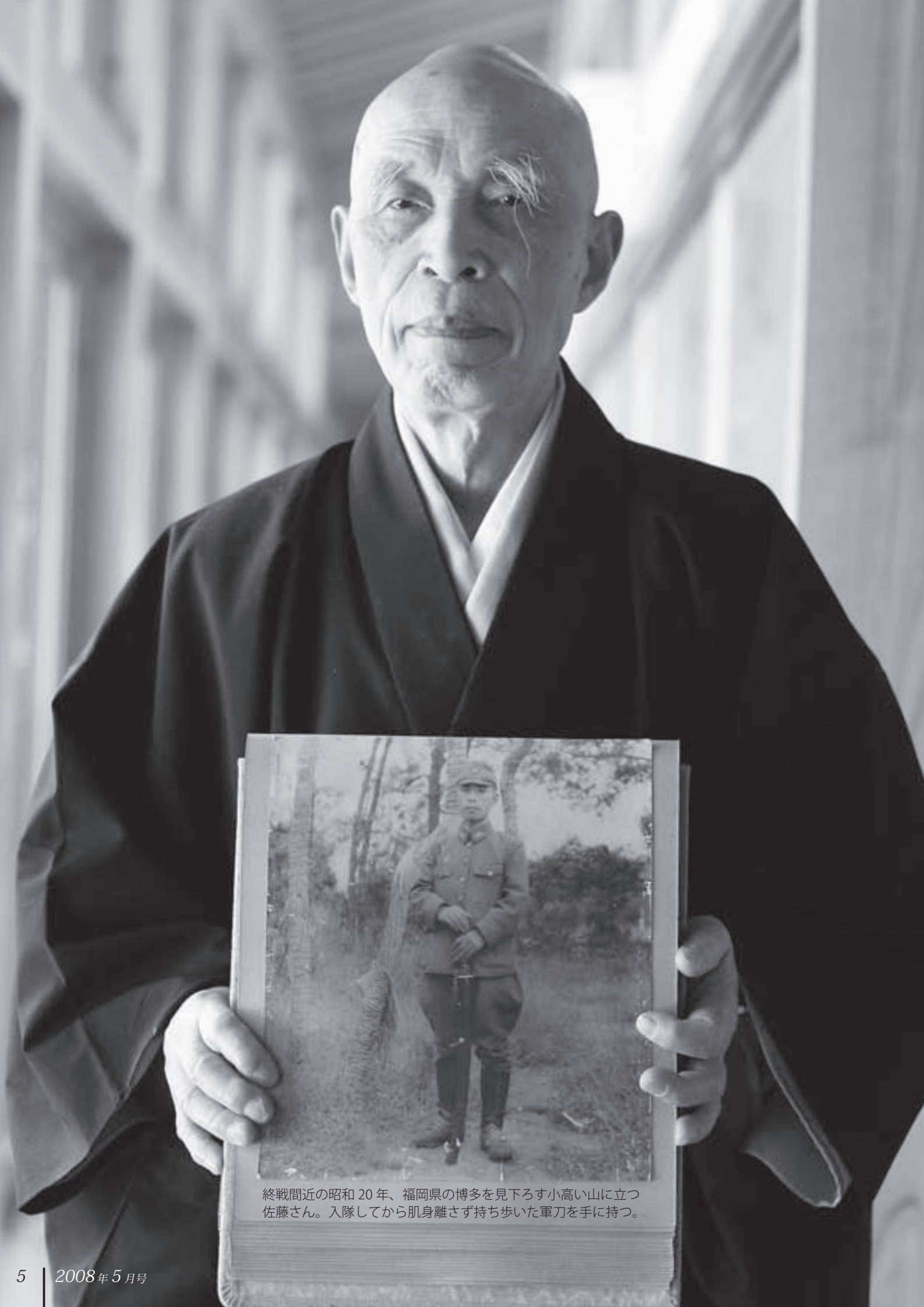
うく、沖繩が陥落寸前、佐藤さんの部隊は沖繩へ向かうことに。途中、上官の指示で、家族への遺言をしたためた。定員をはるかに超え、護衛艦もない輸送船での危険な移動。沖繩に向かう玄界灘で敵国の潜水艦の待ち伏せに遭い、足止めを余儀なくされた。足止めされる間に沖繩は陥落。佐藤さんは、博多で小高い山の飛行場の警備を命じられた。飛行機はベニヤ板で作られたもの。上空を通る敵国へ戦力を誇示するためのものではなかった。

そして、六月、博多の大空襲。「山から見る光景はすさまじいものでした。上空にB29が六十機。そこからばらまき焼夷弾で仙台より大きな都市が見えるうちに真っ赤な火の海になりました。地上の日本軍の攻撃も届かない」。空襲が終わり、佐藤さんら日本兵は一面の焼け野原で延々と亡骸を集め、逃げ延びた人は泣き叫び、家族を探してさまよった。「最も悲しい光景でした」佐藤さんは、目を伏せ、唇をかみ締める。そして八月、終戦。

「戦争は、絶対にしてはなりません。『自分は正しい』と主張するだけでなく、相手の立場を理解し、両者が歩み寄りなければなりません。自らの正しさを掲げるだけでは争いごとは、決して絶えないでしょう」と佐藤さんは、これからを担う人たちにメッセージを送る。「あのまま沖繩へ上陸したら、きつと二度と戻って来れなかったでしょう」家族宛ての遺言状は、秋田で軍服に着替えた学生服とともに自宅へ届いていた。



軍隊に入ったばかりの初年兵のころの佐藤さん。昭和19年、25歳の時に満州で撮影。



終戦間近の昭和 20 年、福岡県の博多を見下ろす小高い山に立つ佐藤さん。入隊してから肌身離さず持ち歩いた軍刀を手に持つ。



絶対に戦争のない世の中にするように
若い人たちには、頑張ってもらいたい

あかや しきしん いち
赤屋敷信一さん（月館字赤屋敷・83歳）

昭和二十年、志願兵として満州へと渡った赤屋敷さん。そこで待ち受けていたものは、まさに地獄のような日々だった。飛び交う弾丸をかくぐり、たくさん命が次々と失われる戦地、収容所生活を生き延びた赤屋敷さんは、戦争の悲惨さ、平和の大切さを強く訴える。

「国のために戦争へ行く。いずれ行かなければならないことでしたし、それは、とても名誉なことでした」と話す赤屋敷信一さんは、昭和二十年二月十日、現地志願兵として歓呼の声に送られて、十九歳で入隊、満州へと向かった。満州では、敵国の戦闘機が入れ替わり飛来し、何回も機銃掃射を繰り返す。戦闘は、日ごとに激しさを増した。日本軍は、銃も弾もほとんどなく、上部隊とも連絡が取ることができない。赤屋敷さんも銃撃を受け、体のあちこちに傷を負い、手には今でも銃弾が残る。赤屋敷さんが入隊した第一〇七師団は二万人とも言われていたが、戦闘で戦死、捕虜、行方不明で三千人くらいに減り、次の日には二百人に減り、最終的には十一人に。またたく間に敗残の兵となり、地図もないまま、星を頼りに、本拠地のハルピンへ向かった。数日後、民家に道の案内をお願いします

ると「今夜はごちそうする」と宴を用意してくれた。食事が始まると敵国の兵士が乱入、銃撃し、皆殺しに遭った。幸いにも、弾が命中しなかった赤屋敷さん。難を逃れようと死んだふりを続けた。暗闇の中、死体はすべて裸にされ、馬車に積まれ、湖のほとりの野原で火をつけられた。ものすごい煙と闇に助けられ、すきを見て、湖に飛び込んだ。逃げ延びた先の豚小屋で寒さをしのいだ。翌朝、現地人に発見され、「これ以上は生きる気になれない。殺してほしい」と頼んでも「兵隊はどうせ、殺される」と腰に巻く布と食べ物を与えられ、追われるようにその地を去った。その後、国民学校へ収容され、再び地獄の日々が続いた。一日の食は茶碗一杯のめしとサイダービン一本の水。氷点下二〜三〇度の教室に押し込められた人は百人、翌日には飢えと寒さで息絶え、二〜三十人になる日が続いた。

収容所の外でも物資を取り上げられ銃殺される者、足手まといの子供を殺す者、異国で孤児になる者、頭を丸坊主にし、軍服を着て難を逃れる女性など「本当に地獄の毎日でした」と収容された日々を、淡々と話す赤屋敷さん。昭和二十二年七月、待ちに待った帰還、ハルピンを出発してから約四十日後、復員の証明書をもらい、一戸駅の地を踏んだのは十月二十一日だった。出征当時、八十キロだった体重は四十キロになっていた。「もう体は動かず、二〜三カ月間、ずっとご飯を食べず、寝かせてもらいました」と赤屋敷さんは一戸に戻った当時を思い出す。赤屋敷さんは今を生きる人たちへ語りかける。「罪のない人同士が国の命令に従い、殺し合う戦争は絶対にしてはならない。絶対戦争をしない世の中にする、絶対戦争のない世の中をつくることを頑張ってもらいたい」と。



出征する赤屋敷さん（中央）と自宅前で見送る家族。昭和二十年冬、赤屋敷さんは当時19歳。

戦争を振り返り、『自分だけ生き残っ

てしまった』という罪悪感も感じました。絶対に戦争はやるべきではないと肝に銘じ、二度とこういう思いをしたくない、今の人にさせたくないと思います」と話しを始めた土川由太郎さん。

昭和十五年、農耕馬で炭を運ぶ仕事で生計を立てていた土川さんは、二十歳で徴兵検査を受け、翌年、野戦重砲兵として、入隊を命じられる。

「死ぬことは怖くありませんでした。『国のために戦争に参加することは名誉なこと』と教育を受けましたから」という土川さんは、地域の皆さんに盛大な壮行式を行ってもらい、小友から徒



昭和20年、終戦となり、戦地から自宅に戻った土川さん。

歩で一戸駅へ向かった。

派遣先は満州北部。鉄道で弘前から新潟へ、そして船に乗り、一夜明けると朝鮮半島に入港。「初めての乗船と港一面の流氷、私たちはいったいどうなるのだろうと思った」と振り返る。

土川さんの任務は、大砲を運ぶ軍用馬を指揮することだった。

しかし、昭和十九年、大動員が下され、部隊は戦況が不利になったフィリピンへの作戦に参加することに。三千頭の馬は残され、土川さんも獣医務下士官として馬の管理上、残留の命を受けた。「とても辛い思いでした。南方への作戦は、投入した兵のうち、その半数

がフィリピンへたどり着ければいいと

いう過酷なものでした。残る私たちも、どうせ死ぬのであれば、苦楽をともにした仲間と死にたいと思っていました。『散る桜残る桜も散る桜、運命は同じ』と話し、酒を酌み交わし、涙で別れたことを覚えています」と声を詰ませる。

昭和二十年四月十四日、土川さんは、敵国が攻めてくるといわれた朝鮮半島の斉州島に、食料を運ぶ馬三十八頭を連れて行くことになった。船が出発するまでの一週間、馬に立て続けに病気が発生し、馬の管理や死んだ馬の処理で靴を脱ぐ間も、寝る間もなく働いた。先に出発した船は敵国の迎撃に遭い、沈没。自分たちの船が出発する時には

恐怖より疲れで眠り込み、次の日の朝、船が無事に斉州島に到着した時は「生き延びたと実感した」と話す土川さん。そこで新たな部隊へ獣医の上司と配属されたが、やがて終戦を迎えた。

「終戦の八月十五日は、私たちの部隊

ができた記念の日でした。その時は、仲間同士で『日本が負けるわけがない』と、部隊の設立記念日を祝いました。大隊長は、何も言わず『今日は、酒を飲め』と言いました。今考えると大隊長は、敗戦を知らされていたのでしょ

う」と話す土川さん。敗戦は翌日、用事で立ち寄った連隊本部で聞かされた。終戦後、上官は「戦は負けた。この悔しさを胸に、膝の上から子供を育て、国を立て直せ」とおっしゃいました。日本に戻り、帰路で焼け野原の広島、大空襲に遭った東京を目の当たりにし、土川さんは敗戦を実感したという。

「生き残ったことは神や仏の導きと考え、私たちは国を立て直そうと必死に働きました。だから、日本はここまで成長を遂げたと思います。自分も社会のために生き、頑張ったつもりです」と土川さんは戦後の劇的な復興を語る。

土川さんは野戦重砲兵として、昭和十六年、満州の派遣を命じられた。苦楽をともにした仲間と涙で別れ、迎えた終戦日は、くしくも部隊の設立記念日。「戦争で生き残った人は、日本を立て直そうと必死で働きました」と戦後の日本を振り返る。

つち かわ よし た ろう

土川由太郎さん（小友字半在家・88歳）

自分だけ生き残ってしまった罪悪感、
今の人にこう思うはさせたくない



子供たちに何とか食べさせていかなければならない一心で働き続けました

一戸花子さん

(本人の希望により仮名・81歳)



花子さんのだんなさん。写真は、結婚した27歳の時。35歳で帰らぬ人になった。

戦後間もなく、戦地から引き上げてきただんなさんと結婚した一戸花子さん。戦争で受けた傷が原因で、七年後、最愛の夫は帰らぬ人に。幸福な生活が一変し、一家の大黒柱を失い、必死で働き続けた花子さんは、再び手にした幸せを今、かみ締める。

一変、幼い子供を残し、亡くなる無念

さは想像を絶するものがあつただろう。

花子さんは二十八歳で最愛の夫を亡

くし、一家の大黒柱として二人の幼子のため、なお鉄道の人夫として働いた。

「雨が降っても、地域の人は『今日も

現場だよ』と声を掛けてくれました。

当時は、作業が中止になっても、現場

に行けば、わずかでもお金をいただく

ことができたのです。そんな地域や友

達の支えにどれほど助けられたことか」

と花子さんは今でもなお、目が潤む。

その後、花子さんは、平糠や岩手町

で魚などを売る行商や会社勤めを続け、

女手一つで、必死に家族を守り抜いた。

「子供たちに、何とか食べさせること

しか考えられなかった」と振り返る花

子さん。行商も何よりも子供の食料を

手に入れるために始めたものだった。

「収入の少なかった私のため、子供た

ちは中学生になり、牛乳配達を始めま

した。私は働き尽くめで、子供の行事

にも参加できませんでした。子供たち

は今でも『その時は、その時だからしよ

うがない』と気遣ってくれます。家で

子供たちの世話を一生懸命してくれた

祖母も私が四十歳の時、六十五歳で亡

くなりました。苦勞させたからです。

地域の人も長い間、大変ご迷惑を掛

けました」と自分を責める花子さん。

夫を奪った戦争のことについては、

「当時は、国のために戦争に行くのは男

の定めでしたから」と意に介さない。

そして、「今がようやく幸せです。子

供たちは、仙台、盛岡と離れて暮らし

ていますが、孫四人、ひ孫一人に恵ま

れました。昨日も、今度就職する孫が

遊びに来て『ばっちゃん、元気でいろよ』

と言ってくれました」と笑顔が広がる。

花子さんは、欠かさず戦没者追悼式

に参加している。その時、戦没者を慰め、

祈る心には、何が去来するのだろうか。

戦後間もない昭和二十年、一戸花子さん(仮名)は、仲人の紹介が縁で、戦地から引き揚げて来ただんなさんと結婚。花子さんは二十歳、だんなさんが二十七歳の時だった。

式は身内だけで家で行い、慎ましくも幸福な生活が始まった。

花子さんとだんなさんは、鉄道の線路工事の人夫として生計を立て、子宝にも恵まれた。昭和二十三年には長男、同二十六年には次男が生まれた。

愛らしい我が子がすくすくと成長する姿を励みに、二人は懸命に働いた。

「夫は家族を引っ張っていく頼りがいのある人でした。文句を言わない人で、

仕事も頑張り、子供たちもよくかわいがってくれました」と目を細める。

昭和二十七年、戦争で出征した際に、戦地で馬に胸を踏まれことが原因で、胸の病気を患っていただんなさんの体に変化が出始めた。

「夫が病気を患っていたことは、結婚当初は知りませんでした。夫は戦争の

ことは一切話しませんでしたし、私も

聞こうとはしませんでしたから。戦争

で胸を患ったことも、他の人から聞いた

たことでした」と振り返る花子さん。

だんなさんは、次第に病状が悪化。

病床に伏すること半年、昭和二十八年、

三十五歳で帰らぬ人に。幸福な生活が



「あの日から私たちの幸せな生活は一変しました」と話す郡司楞岡さん。

昭和二十年、日ソ不可侵条約を破棄し、ソ連が戦争に参戦。北海道の北方、日本人が平和に暮らす樺太の地で、悪夢のような現実が襲った。

当時の国境を越え、陸続きの北方と南方に上陸したソ連兵が一斉に侵攻。逃げ惑う住民で樺太は混乱に陥った。

「進駐したソ連兵は、奪略、暴行を繰り返しました。数週間後、ソ連軍が樺太を鎮圧。捕えた日本兵、十二歳以上の男子青年の強制労働を始めました。戦前、頼りにしていた日本兵の変わり果てた姿に、恐ろしさで身震いがしました」と語る郡司さん。

当時、郡司さんは小学六年で十一歳、強制労働を免れるが、最上級生として、ソ連兵と交渉することが多く、徐々にロシア語を習得し、通訳を任された。

昭和二十二年、寺を営む郡司家に帰

国命令が出されたが、寝たきりの家族を抱える商店に帰国権利を譲ることに。

郡司家は、その権利を譲った家庭に代わり、商店を営んだ。ソ連から商品が商店に支給され、その売り上げを銀行でソ連に収めるシステムだった。

店には抑留された日本兵もソ連兵も警察も訪れ、また盗難が相次いだ。日本兵に百ルーブルの時計を四個盗まれることがあった。「百ルーブルは、父親の給料一カ月分。私は馬に乗り、その後を必死で追いました。少年だった私にとつて、まさに恐怖。八十キロ離れた町で、やっとその人を捜し当てたが、『時計を売り、身分証明書（＝闇ルートでも売買された生活の必需品）を買い、返すことができませぬ』と正座で謝られ、どうすることもできませんでした」。

ソ連の警官が服を付けて買い、そのまま姿を消すことも。郡司少年は責任を問われ、警察に連行、取調べを受けた。

昭和二十年、樺太で幸せな生活を送っていた小学六年生の郡司さん。戦争に巻き込まれた生活は、幸福に暮らしていた少年にとつて、あまりにも過酷な生活だった。どんなに辛い思いをしても、その心には「勉強がしたい」という一途な思いがあった。

外には、帰りを待つ父親が立っていた。理不尽なことが続き、郡司家は大きな負債を抱えた。経営の責任を負わされ、最後の帰国命令が郡司家だけ出されなかった。乳飲み子を含む郡司一家八人は、人目につかないよう離れ離れに逃走、日本人収容所に向かう列車に紛れ込み、運良く日本にたどり着いた。

「家族がばらばらになり、樺太を逃れた時の恐怖は、日本に到着しても三十二年間、毎晩夢に見ました。本当に毎晩。母の親戚を頼りに、一戸でその後を過ごしてきた郡司さん。「茶碗も箸も持たなかった私たちが、どれほどお世話になったことか。かけた迷惑は計り知れない」と地域への感謝の言葉を表す。

樺太でどんな辛い思いをしても、勉強したい気持ちをもち続けた郡司さん。一戸では、昼は働き、夜は勉強して、二年遅れて念願の高校に入学。その後、教壇で児童に学ぶ楽しさを伝え続けた。

郡司楞岡さん

（一戸字越田橋・75歳）

家族が離れ離れになり樺太を逃れた時の恐怖は三十年間、毎晩夢に見ました



郡司さんの故郷、樺太の風景。一戸に移住してから郡司さんは3度ほどこの地を訪れた。終戦前後には医療事情の悪さから病気で兄、弟、妹が亡くなり、この地で安らかに眠る。



まもなくチャレンジデー!!

一戸町では、乳幼児から高齢者の方まで全ての町民が運動やスポーツに親しみ、これをきっかけに町民一人ひとりが定期的、継続的にスポーツライフを送り、今まで以上に、生活に潤いのある明るく元気な一戸町になることを願ってチャレンジデーに参加します。当日は、15分以上の運動を楽しみましょう!

5月28日
水曜日
午前0時～午後9時

町民の皆さんへ

「活力ある地域社会をつくるための基本は健康です。自分の健康は自分でをモットーに、チャレンジデーをきっかけとして、運動を始めましょう。子供からお年寄りまで、町のいたるところで運動している光景、これが一戸町のイメージとなるように。」

チャレンジデー実行委員長 稲葉 暉

今年の参加票（報告用紙）
には抽選番号があります！
一戸町商品券などが当たる!?

なお、当選者の発表は
商品の発送をもって
かえさせていただきます。

◎運動を楽しむ町民の皆さんからチャレンジデーについて、お話を聞きました



◎関谷綾くん（一戸南小学校5年）



◎吉田クニ（左）さんと米田花子さん（右）

Q. 好きな運動は？

A. 野球（剣道のスポ少に入ってるけど…）

Q. 家族と運動をする機会は？

A. あまりありませんが、時々、学校のグラウンドで友達と友達のお父さんと一緒に野球をして遊びます。

Q. 好きなスポーツ選手は？

A. プロ野球の森本稀哲選手と元プロ野球選手の新庄さん。

Q. チャレンジデーと言えば？

A. 去年、全校生徒でやったエアロビクスをまたやりたい!

Q. 好きな運動は？

A. 米田さん：ウォーキングが日課。週1回は保健センターで筋トレを行います。登山が好きで、最近では富山県の立山に登りました。

Q. チャレンジデーに期待することは？

A. 吉田さん：個人ではなかなか行動できないので団体で参加できる催しをお願いしたいです。婦人会でも何かお手伝いしたいとは思っています。あとはメタボ予防に役立つ教室があれば助かります。

ほかにも、チャレンジデーにたくさんの声をいただきました

★20代のママ：内田菜奈さん

社会人になってからもバスケットボールをしています。心掛けていることは、子どもとよく散歩することと食事で野菜を多くとるようにしています。子どもと一緒に参加できるイベントがあったらうれしいです。

★ゲートボール愛好家：小野寺徳則さん

65歳になり、最近、体のあちこちが痛いけれど、ウォーキングと大好きなゲートボールは毎日欠かしません。チャレンジデーでは、独身の若者や家から出てこないお年寄り

にも対策を考えて、町民全員参加を目指してほしいです。

★西法寺地区の元気な中学生：R. Iさん

家族と一緒にランニングした時期もありました。「何も咲かない寒い日は下へ下へと根を伸ばせ。やがて大きな花が咲く」というマラソンの高橋尚子選手の言葉が好きです。

■チャレンジデーに関するお問い合わせ先

チャレンジデー実行委員会事務局 生涯学習課（久保）
☎33-3810 / 総合運動公園（西館）☎33-4444

町税の滞納に 厳正な滞納処分を行います

地方への税源移譲が進む中、町税の納付にご理解をいただき、ありがとうございます。

町税は町民の皆さんに行政サービスを提供するための大切な財源です。

しかし、残念ながら未納の方もおり、滞納が増え続けるとサービス低下などの影響が生じる恐れがあります。そこで、町では次のとおり、差し押さえを実施しています。

《平成 19 年度差し押さえ状況》

給与	4 件	預金	1 8 件
所得税還付金	6 4 件	その他債権	2 1 件

さらに、より一層、納税者の公平性を確保するため、今年度は人事交流により二戸地方振興局から県職員を受け入れ、

動産（電化製品など）・自動車などを差し押さえ、
公売し、滞納金に充てるなど、滞納処分を強化します！



※写真はイメージです。

「滞納額が高額」などの場合には、**岩手県地方税特別整理対策機構**に滞納整理業務を引き継ぎ、当機構が差し押さえなどをする場合もあります。

一括での納付が困難な場合は、分けて納付することもできますので、現在未納の税金がある方は、下記まで早急にご相談ください。

【担当・お問合せ先】

役場税務町民課 徴収係 ☎ 33-2111 内線 122

◎岩手県地方税特別滞納整理機構は、町で納税をお願いしている町税（町県民税・固定資産税・軽自動車税・国保税）について、納税にに応じていただけない方を対象に、法律に基づいて預金・給与・不動産などの差し押さえ・公売処分といった滞納整理を専門的に行います。

竹細工マイバックモニター大好評でした

一戸町の伝統工芸である竹細工の良さを見直し、レジ袋の削減を目指すことを目的として、「竹細工マイバック運動」モニターアンケートを実施し、鳥越もみじ交遊舎で作製した竹細工を、30名の町民の方に2カ月間ご使用いただき、ご意見、ご要望をいただきました。

アンケートではレジ袋（ビニール袋）より持ち運びやすい、品物が入れやすいなど、多くのモニターの方から使いやすいというご感想をいただきました。製品については、品物が見えないようにふたや布を付けて欲しい、実際に使用してみて、もう一回り大きいカゴが欲しいというご意見が多くあり、買物カゴのほかにA4サイズの書類が入るバック、花かご、おにぎり入れ、小物入れ、肩に掛けられるショルダーバックやリュックサックなど、竹細工製品に関する多くのご要望もいただきました。持ち手が破損した物が数件見られ、商品製作に関する課題も見えてきました。

今後は、アンケートでいただいたご意見などを製品開発に生かし、町内外、県外へ鳥越の竹細工をPRしていこうと考えています。



↑今回使用したエコバック[㊤]とアンケート結果を元に作製した布付きエコバック[㊦]

竹細工マイバックモニターアンケート回答で、削減されたレジ袋は二カ月で約八五〇枚と推定されます。これはレジ袋の原料である石油に換算すると一五割分に相当します。このマイバック運動などについてお店の方に、お話を伺ってみました。

マイバック持参者に独自にi（アイ）カードポイントを付けるようにしたのは、昨年秋ごろです。以前に買い物客にマイバックを配布したことがあり、それを使って買い物をしてもらいたいことと、レジ袋の値段も石油価格高騰で値上がりしたため、店の経費削減につなげようと思ったからです。昔は買い物にはカゴやバック持参が当然だったので、iカードポイントサービスを通じてマイバックが習慣となっていけばいいと思います。



◎金田一商店
金田一直子さん

最近では、お客様のマイバック持参者は確実に増えていると思います。マイバックをいろいろな所で売っていることでもありますし、環境に配慮したいという思いを持った方が増えているからだと思います。竹細工マイバックも見かけますが、素材別でいうと、水濡れに強いナイロン系が一番多いように感じます。

当社では、県内で一番早く牛乳パックや食品トレイの店頭回収を始め、花巻市の自社の工場でもリサイクルしています。近々ペットボトルの店頭回収も始めようと考えています。レジ袋を断ったお客さまには「エコポイント」を付与しています。これは、お客様にもメリットがありますし、当社のレジ袋を購入する経費削減というメリットにもつながります。石油製品が高騰し



◎株式会社 JOIS 一戸店
蒲田一成店長

ており、レジ袋にしても、一円でも安く仕入れたいので、毎日相場を確認しています。マイバックモニター者のアンケートでは、「レジ袋の有料化」がマイバック普及に一番つながるといって回答ですが、当社は十年ほど前に盛岡の系列店でレジ袋有料を試みましたが、当時はまだ、レジ袋は無料でもらって当たり前という風潮があり、環境に配慮したいという当社の思いが通じなかったようで、お客さんの反応は散々だった苦い経験があります。現在は、首都圏や各地のスーパーでレジ袋の有料化を行っている所もあるようで、当時と違ってお客様の理解が進んでいるようです。

ごみの減量は、レジ袋もそうですが、私は過剰包装を減らすことで大きくごみは減ると思います。お中元やお歳暮など、一箱ずつ包装紙に包むより、短冊型ののし紙を貼り付ける簡素な包装が主流となりつつあります。膨大な包装紙を使用するお盆と年末時期、町などの呼びかけで簡易包装が浸透すると、ごみ減量につながるものと思います。

※今回使用した「エコバック」は鳥越もみじ交遊舎、いちのへ手技工芸館で展示販売しています。



上平 明美

さん (一戸町中里出身・40歳)

「助からない命のそばに、助かるかもしれない命がある。笑顔も仕事のうちだよ」の言葉で相手の環境に身を置くことの大切さに気づきました。



「出身校の生徒に話をでき

たことはうれしかったですね。何か一つでも生徒の心に引っかけたければ、幸せです」と上平明美さん(盛岡市在住)。鳥海中学校の特別講師として、自らの体験を伝えるため母校の教壇に立った。

上平さんは、今年一月まで十カ月間、アフリカ東部のウガンダで、国際的な非営利民間医療・人道援助団体「国境なき医師団(※MFS)」の一員として、HIV/エイズ感染者の看護に携わった。

きっかけは、趣味の海外旅行で訪れた七年前のパキスタン。帰国すると同時多発テロを契機に、米国がアフガニスタンの武力攻撃を開始。先日まで滞在していた隣国パキスタンの子供の笑顔が重なった。

「看護師として働く自分に何かできることがあるかもしれない」と考え、国境なき医師団(MFS)に応募した。

実際に活動に参加すると、「メンバーは、どんなに大変な状況でも、患者に優しく接し、その意識の高さにとても驚いた」と話す上平さん。

限られた医薬品や医療器

材、言葉の壁…。そして、どんなに手を尽くしても、亡くなつていく人々。日本とは全く違う現実が、そこにあった。

「患者さんが次々と亡くなり、涙が止まらない時、スタッフは教えてくれました。『助からない命のそばには、多くの助かるかもしれない命がある。笑顔も仕事のうちだよ』。私は相手の環境に身を置くことが大切なことに気付きました。自分の環境や価値観を持ち込もうとしていたのです」と話す上平さんは続ける。

「水を汲むために三時間かけ、学校にも満足に通えない、そんな現実を目の当たりにした時、日本の良い所、悪い所も見えてきました。同時に、少しでも節約する、学校を楽しむなど、自分たちに何ができるかも見えてきました」と。

今後も活動が続けていきたいと語る上平さんは「一戸には山があり、川があり、良くしてくれる近所の人があった。学生の時も、いろいろなことにチャレンジさせてもらいました。今の自分につながる部分が大きい」と話す。視線の先に、変わらぬ風景が広がる。

※国境なき医師団= 1971年フランスで設立され、緊急医療援助を主な目的とし、医師、看護師をはじめとする4,600人以上の海外派遣スタッフが、25,000の現地スタッフとともに、世界約60カ国で援助活動を行う。99年にノーベル平和賞を受賞。

みなさんの地域、
職場の楽しい話題の
情報をお待ちしています。
広報担当 ☎33-2111（内線 207）
までお気軽に、ご連絡をください。

まちの話題

情報共有を目指す新たな試み

平成 20 年度自治公民館長・町内会長等合同連絡会議が 4 月 16 日、町民文化センター大会議室で行われました。これは地域の組織として同じ機能を果たす部分も大きい自治公民館と町内会などが、合同の会議を行うことで地域づくりの情報を交換したり、共有することを目的に行われたものです。

会議では自治公民館や町内会活動の発表のほか、町からは地域を対象に行っている事業の紹介を行い、情報を共有できる会となりました。



↑平成 19 年度の活動を発表する旧中山地区自治公民館の釜石整さん。
会場には発表を聞きながら、メモを取る参加者が多く見られました。

今年も多くの方が訪れるよう

御所野縄文公園で、本格的に観光客が訪れるシーズンに備えようと 4 月 20 日、春のクリーンデーが行われ、ボランティア団体や地域の町内会、婦人会など約 100 人が参加し、奉仕作業に汗を流しました。

当日は、天候にも恵まれ、参加者は手分けして、公園内や駐車場の草取り、きききのつり橋の下の池の泥上げ、竪穴住居内の清掃などを行いました。

作業後は、御所野発掘友の会が手づくりの郷土料理を振る舞い、交流会を行って、親睦を深めました。



↑きききのつり橋の下の池で行われた泥上げ作業。

そ 平糠自治振興会で地域にこいのぼり設置 よぐふるさとの風を受けて

平糠自治振興会（小堀征八郎会長）では、地域の活性化を行おうと、平糠川と落合川の合流地点付近に、こいのぼりを設置しました。

赤畑博副会長は「今年、結成した平糠自治振興会では、地域を盛り上げていこうと話し合い、最初の取り組みとして、地域の方々から家庭で使用しなくなったこいのぼりを無償で譲り受け、こいのぼりを設置しました。今後も地域で協力し、さまざまなことに取り組んでいきたいです」と抱負を語りました。



↑地域の方は「桜も咲き、雰囲気があっいいね」と話しました。



↑子供の家保育園に戻り、記念撮影する美知花ちゃんと園児たち。

みちびつこ一日警察署長に澤口美知花ちゃん みんなで交通ルールを守ろうね

一戸子供の家保育園に通う澤口美知花ちゃん（5歳）は、4月14日、二戸警察署から一日警察署長に命じられ、町内の保育所や幼稚園など6カ所を巡回し、交通安全を呼び掛けました。美知花ちゃんは「道路で遊んだり、飛び出したりしないよう約束してください。お父さん、お母さんにも交通事故に気を付けるよう話してください」とやや緊張した面持ちで呼び掛けました。

美知花ちゃんは、一日署長を終えて「緊張したけど、楽しかった」とほっとした表情で話しました。

山火事防止巡回広報、気を引き締めて出発式 火事から防ごう大切な森林

一戸町山火事巡回広報の出発式が二戸消防署一戸分署前で4月16日に行われました。出発式には、県森林整備協同組合県北センターや岩手北部森林管理署など森林関係者や消防関係者など14人が参加しました。

出発式で稲葉秀俊産業部長は「今年は山火事が多く発生しています。大切な森林を山火事から未然に防ぐには広報が大切です。どうぞよろしくお願いします」とあいさつを行いました。その後、参加者は車に乗り込み、町内を巡回して、山火事の防止を呼び掛けました。



↑あいさつを行う稲葉部長と出発式に臨む参加者。



↑真剣な表情で訓練を行う消防団員。

た町消防団規律訓練等指導会、意気高らかに ゆまめ訓練、燃える火消し魂

春の温かな陽気に包まれた4月20日、総合運動公園で一戸町消防団規律訓練等指導会が行われました。

この日の訓練には約400人が参加。二戸消防署一戸分署員の指導で小・中隊訓練や、ポンプ操法の指導会などが行われ、参加者は真剣な表情で訓練に臨みました。また、団員の辞令交付もこの日行われました。

参加者からは「今年は天候にも恵まれ、訓練時間も短縮され、午前中で終了し、とても良かったと思います」という声が聞かれました。

地もしものために…110番かけこみ訓練を行う 地域の子供を守るのは私たち

春の全国地域安全運動初日の4月6日、一守書店（向町）で、110番かけこみ訓練が行われました。

これは、最近、全国的に子供が犠牲となる事件が多発していることを受け、二戸警察署や一戸町防犯協会などが行ったもの。一戸小学校の女子児童3人が、不審者に声を掛けられたという想定で、近くの一守書店に駆け込んで助けを求め、不審者の特徴などを店員に伝え、警察へ110番通報、現場に到着した警察官からの聴取まで一連の訓練を行いました。



↑本番さながらに児童3人の助けを受け、警察へ通報を行う。

ぼくとわたしの作品展

小鳥谷保育所のお友達のすてきな作品を紹介します

戸田ノ岡悠斗ちゃん(3歳・かなりや組)
大好きなお父さんの絵を描きました。
次はお母さんの絵を描くぞ〜。



戸山本夢空ちゃん(4歳・つばめ組)
お母さんに買ってもらったお気に入りの髪飾りをつけた自分の絵です。

戸関 萌衣ちゃん(5歳・はと組)
保育所で咲いたチューリップです。
図工が大好きで、家でも楽しめます。



町の文芸

短歌

覚えてたてハガキいっぱい大きな字

「ばあちゃんげんき」と幼のたより

幾許もなき命とぞ知りし彼

参加を喜ぶ同級会に

麦の穂に触れる痛さの懐しき

川への道を辿り行きたる

半年も無沙汰の墓を拭きおれば

傍の桂のかすかに芽吹く

子等孫等集ひて祝ふ我が九十寿

生かざるるいのち更に祈りて

月二回ひとり暮しの寄り合ひて

昼食囲む熱きまほろば

ごつごつの手にレジを打つ産直の

朝一番の男の笑顔

憂き世に花を降らしめ和めよと

古樹のさくらに新芽つやめく

俳句

極楽に行くよな心地日向ぼこ

風呂吹やことと和む夜話弾む

「よかったね春が来たよ」と言ふ日和

ポケットより驚掴みにて路の臺

春浅し「風の画家展」一人観る

何もかもぐつとこらへて二月尽

バイパスの神社の森や春疾風

名残り雪逝きたる主の鉢植えに

春兆し一日クレーンの音唸る

三月短歌・俳句会
一戸町文化協会俳句部会
会場 小鳥谷地区公民館

岩淵 良子

馬林 京子

東山 智子

柴田 サヨ子

佐藤 大暁

女鹿 昌子

仁昌寺 洋子

中村 ちよ

岡田 湖草

根反 与之

女鹿 昌子

中館 木実

岩淵 良子

※お詫びと訂正…先月号の東山智子さんの短歌「蠟」は「蟬」の誤り
でした。お詫びして訂正します。大変申し訳ありませんでした。

★
一
等
星

♪一歳になったよ♪



上山^{せいだ} 晴大ちゃん
(中山大塚)
平成 19 年 3 月 15 日生まれ
お父さん 洋祐さん
お母さん 真知子さん
お父さん、お母さんから一言
すくすく育ててね!

高間木^{るあ} 琉愛ちゃん
(奥中山西田子)
平成 19 年 3 月 26 日生まれ
お父さん 安彦さん
お母さん 良子さん
お父さん、お母さんから一言
元気に育ててね♥



田代^{あやか} 彩華ちゃん
(女鹿女鹿館)
平成 19 年 3 月 2 日生まれ
お父さん 正幸さん
お母さん 幸子さん
お父さん、お母さんから一言
健康で元気に育ててね!



高間木 さくらちゃん
(西法寺稲荷)
平成 19 年 3 月 1 日生まれ
お父さん 守さん
お母さん 千雪さん
お父さん、お母さんから一言
兄弟仲良く元気に育ててね!



ドウコフスキ・マーティンさん
一戸町ALIT
(外国語指導助手) 22歳
昨年八月からALITとして、英語の楽しさを伝えるマーティン先生は、アメリカのカリフォルニア州出身。一戸南小学校、小島谷小・中学校で英語の授業を行う。大学で、日本の合気道に取り組み、講師の話す「イチ・ニ・サン」という日本語に興

日本は私たち外国人に対して、まだ戦争というイメージが強い。世界の文化も紹介し、そのイメージを少しでも変えていきたい。

味を持ち、「もつと勉強したい」と来日、勉強の日々だ。「日本は、安全でみんなとても親切。日本では私たち外国人に対して、まだ戦争というイメージが強い。英語と同時に、いろいろな世界の文化も紹介しながら、そのイメージを少しでも変えていきたい」と語るマーティン先生。将来の夢は、「日本が大好きなので、大学で勉強したコ

ンピュータサイエンスを基に、コンピュータソフトを作り、日本人と働くこと」。三月の小島谷卒業式は「生徒、親、先生、グッドモエリー(=良い思い出)で涙が出そうでしたが、泣きませんでした。だって男だから」と涙をふくしぐさを見せるマーティン先生、気分は日本人だ。Q好きなタイプは?—良い人Q趣味は?—パーティー

広報クイズ

〜一戸町共通商品券〜
(1,000円分)
3人にプレゼント!

先月号の当選者は、早野聖子さん(大越田)、玉川照子さん(諏訪野)、おかだまきさん(蒼前久保)です。おめでとうございます。

◎広報クイズです。
問題 まもなくチャレンジデーがやってきます。ぜひ今年のチャレンジデーはいつでしょうか?
「〇月〇日」
ハガキにクイズの答え、住所・氏名、年齢(学校名・学年)、電話番号を記入し、
〒〇二八―五三一―
一戸町高善寺字大川鉢
24―9 広報クイズ係まで。
(五月二十九日締め切り)
※余白に町政への提言などをお書きください。

♪一歳になったよ♪——6月に1歳を迎える赤ちゃんの写真を募集!!ご希望の方は5月29日までに広報までご連絡願います

◎後期高齢者医療制度のお知らせ

病院にかかるとき

75歳以上の方（一定の障害のある方は65歳以上）は後期高齢者医療制度の被保険者となり、後期高齢者医療被保険者証（保険証）が交付されます。病院などにかかるときは、必ず提示してください。

後期高齢者医療制度の加入日は、75歳の誕生日からです。75歳を迎える方には、一人に一枚、保険証をお送りします。保険証をなくした場合は、印鑑をお持ちの上、税務町民課か各支所で再交付の手続きをしてください。

葬祭費の支給について

被保険者が亡くなった場合、役場か各支所で申請し、葬祭を行った方に岩手県後期高齢者医療広域連合から3万円が支給されます。（口座へ振り込みします）手続きに必要なものは、次のとおりです。

- ・保険者証・葬祭を行った方の通帳（振込先がわかるもの）・印鑑

◎後期高齢・国保税・特定検診などの地区説明会開催

後期高齢者医療制度、国民健康保険税、特定検診・特定保健指導について、担当課では、下記の日程で地区説明会を開催します。

場所	期日	時間
①小鳥谷地区公民館	5月26日（月）	19:00～21:00
②奥中山地区公民館	5月27日（火）	19:00～21:00
③鳥海地区公民館	5月29日（木）	19:00～21:00
④町民文化センター	5月30日（金）	19:00～21:00



↑後期高齢者医療被保険者証（水色）

保健カレンダー

乳児・1歳児健診

- ・5月20日（火）13:00～保セン
- ・6月3日（火）13:00～保セン

3歳児健診

- ・5月27日（火）13:00～保セン

BCG予防接種

- ・5月19日（月）13:00～保セン

結核・肺がん・特定健診（これまでの基本健診）・大腸検診

- ※受付時間 午前9:00～11:00
午後1:30～3:00

※保険証をご持参ください。

- 5月12日（月）保健センター
- 5月13日（火）保健センター
- 5月14日（水）文化センター
- 5月15日（木）文化センター
- 5月16日（金）文化センター

乳がん・子宮がん検診

- ※受付時間 午前9:30～10:30
午後1:00～2:00

- 6月2日（月）保健センター
- 6月4日（水）保健センター
- 6月5日（木）奥中山農業団地センター
- 6月6日（金）小鳥谷地区公民館
- 6月7日（土）保健センター

- ・こころの悩み事相談：必要により専門医が相談に応じますのでご相談ください。

- ・助産師の妊婦・産婦・新生児の家庭訪問と栄養士による栄養相談・家庭訪問を行っています。

- ・おいでおいで（検診室の開放）は6月12日（木）10:00～保セン

※詳しくは ☎32-3700 まで

保健センターだより ☎32-3700

保健係 内線 608
610・613・614

◎5月31日～6月6日は禁煙週間です！

「健康いちのへ21プラン」では、妊婦・未成年の喫煙防止を目標に掲げ、妊婦の喫煙率を平成22年度までに0%にすることを目指しています。平成18年度の実績では、9.9%となっています。

喫煙の害といえば肺がんがよく知られていますが、喫煙は全身のほとんどのがんの発生と関わりがあり、がんの他にも心臓病、脳卒中をはじめとするさまざまな生活習慣病の原因となります。妊娠中の喫煙は、低体重児の出産や早産、流産の危険性を高めます。また、未成年の喫煙は病気の発症率が高く、ニコチンへの依存も高くなりがちです。

*禁煙することで以下のようなメリットがあります。

- ・がんなどの生活習慣病にかかるリスクが低減する。
- ・食事がおいしくなり、胃の調子もよくなる。
- ・歯や歯ぐきの色素沈着がなくなり、嫌な口臭も消える。
- ・朝の目覚めが良くなる。
- ・肌の調子がよくなり、冷え性も改善される。
- ・お金が節約される。

現在喫煙している人でも、禁煙することで生活習慣病の予防・改善につなげることができます。

*禁煙をしたいとお考えの方は、ご相談にのりますので、上記連絡先までぜひご連絡をください。

今年から「国保係」が役場庁舎へ移りました

一戸交番だより

◎改正道路交通法の施行について

道路交通法の一部改正（6月施行予定）に伴う、主な改正点について、お知らせします。



☎33-3059

ご不明な点がございましたら、最寄りの交番、駐在所へお問い合わせ願います。

◎後部座席シートベルトの着用が義務付けられます（被害軽減対策）

自動車の運転者は、助手席以外についても、シートベルトを装着しない者を乗車させて自動車を運転してはいけません。

◎高齢運転者標識等の表示が義務付けられます（高齢運転者対策）

75歳以上の者と聴覚障害者は、普通自動車

を運転する場合、「高齢運転者標識」、「聴覚障害者標識」を表示しなければなりません。

◎自転車の歩道通行可能条件が明確化されます（自転車利用者対策）

道路標識などで自転車の通行が指定された歩道に加え、運転者が児童、幼児の場合や車道、または交通の状況からみてやむを得ない場合に限り、歩道通行が可能となります。

また、児童や幼児の保護者は、乗車時ヘルメットをかぶらせるように努めなければなりません。

◎平成20年の交通事故発生状況【3月末現在】

	件数	前年数	前年比
人身事故	10件	5件	5件
死者	0人	0人	—
傷者	11人	6人	5人
物損事故	50件	86件	▲36件
飲酒運転検挙	0件	0件	—

わが家の引出物

この春、わが家では法事があった。悩んだのが引出物である。これは、どのご家庭でも同じだと思いが、金額はいくらが良いか、そして品物は何が適切なのかということである。

金額が決まっても、品物を具体的に選ぶというのが結構難しい。だからであろう、最近カタログから好きな物を選んでくださいというのが流行ってきた。結婚式も含めてである。引出物をもろう方で選んでください、ということであろう。

私もカタログを選ぶのかとも思ったが、今回はもう少し時間をかけて考えてみた。かなり時間をかけたが、ある時、ふと思いついたんだ。

何と足元にそれがあつたのである。足元にあるのに簡単に思い浮かばなかったのは、固定観念があつたからだと思う。つまり、引出物にする位の金額で、引出物にして喜ばれるようなものは、残念ながら、地元には無いと言う固定観念である。これは食品に限りの話である。もちろん地元にもおいしいものは沢山ある。しかし、他に優つて、ダントツにおいしいものという意味では無いとの固定観念である。

また小鳥谷のサクランボ「夏恋」もあつたが、金額が引出物の上を行くし、なにごつん時期が限定されていて、シーズンになつ

てみなければ、作の出来もわからなかつたのだ。

ところがシーズンを問わず、かつちようど良い値段のものが現れたのだ。それにふと気が付いたのである。

私は県のある団体の長をさせてもらつていて、全国の類似団体との付き合いがあり、県を代表するおいしい物を季節のあいさつとして選ぶ機会があつた。その時にどうせなら町内の物ということで三谷牧場の「金のヨーグルト」を贈らせていただいた。

これが大好評であつた。その中でもある

勢子
町スケツ
長暉
一戸町
稲葉

県の人からのお礼の言葉で「私はヨーグルトがずっと苦手でしたが、でほとんど食べられなかったが、あのヨーグルトだけは本当においしく食べられました」というのがあつたし、またある人からは「ヨーグルト旅行の時にどこかで食べたおいしいヨーグルトを久しぶりに思い出したと言葉をちょうだいした。このことに思い当つて我が家の法事に使つてみたのである。

結果は、大成功であつた。関西にいる親戚からもわざわざ電話をもらった。いわく「こんなにうまいヨーグルトは初めて。トッピングを、はちみつなどいろいろ変えて試したが、どれもとても良かった」。

法事の影響が、引出物のおかげで味わい深いものになつたと感じている。

一戸でもいいものが、次々出始めているが、さらなるレベルアップを期待したい。

まちの お知らせ ひろば1

行政相談委員の紹介



■一戸町行政相談委員

佐藤一成氏（広全寺住職）

住所 一戸字大沢 25 番地 9

電話 32-2666

役所の仕事や手続き、サービスについての苦情、制度や仕組みが分からない、説明や対応に納得いかない、こうしてほしい、どこに相談してよいかわからないなどがありましたら、気軽にご相談ください。

※相談無料。秘密は守られます。

【問】 税務町民課 住民係

☎33-2111 内線 118

特設人権相談所開設

■相談内容

- 夫婦間・親子間の問題
- 登記・土地境の争い
- 子ども・老人などの虐待
- 女性差別など差別問題
- 隣近所とのもめごと
- 遺産相続・戸籍などの問題

■日時 6月1日（日）

10:00～15:00

■場所 町民文化センター

■申込先 当日に受付します

■相談料など 無料

■相談担当者

法務大臣委嘱町人権擁護委員

■主催 二戸人権擁護委員会
(法務局二戸支局内)

☎25-4811

【問】 税務町民課 住民係

33-2111 内線 113

一戸町高齢者や障害者に優しい 住まいづくり推進事業について

要介護高齢者（介護保険の要支援または要介護の方）及び重度身体障害者（身体障害手帳1～3級保有の方で下肢、体幹機能障害または移動機能障害に限る。）の方が、床面の段差解消や手摺の設置など、日常生活動作や介護者の介護動作の向上を図るために行う住宅改修について、工事代金の一部を助成します。

5月30日（金）までに健康福祉課に申し込みください。

◎補助金額は予算の範囲内で工事内容などを考慮し、決定します。

◎申し込みの際は、申請書のほか住宅の平面図や工事見積書などの提出が必要です。

◎要支援、要介護の方で担当ケアマネジャーがいる方は、ケアマネジャーを通して申し込んでください。

◎必ず交付決定後に着工してください。

詳しくは、健康福祉課福祉係にお問い合わせください。

【問】 健康福祉課 福祉係

☎32-3700 内線 606

自動車税は6月2日までに

自動車税は、4月1日現在で、自動車を所有している方に納めていただく県の税金です。

平成20年度の自動車税納税通知書は、4月30日に発送されています。納期限は6月2日となっていますので、指定された納付場所です忘れずに納めましょう。

【問】 二戸地方振興局

企画総務部税務室 ☎23-9254

食品に係る危害情報について

冷凍食品やペットボトル飲料への異物混入による健康被害が報道されています。

ふたがゆるんでいたたり、包装が一部開封されたりした痕跡のある商品を見つけた場合は、決して口にせず、販売店や役場、保健所などに連絡しましょう。また、万が一、このような商品を口にすると健康に害が生じた場合は、すぐに病院などで手当てを受けるとともに、役場などへ連絡してください。

【問】 産業課 商工観光係 ☎33-2111

内線 258 二戸保健所 ☎23-9206

一戸町身体障害者福祉協会からのお知らせ

平成20年度の定期総会を開催しますので、会員並びに入会を希望される方の多数の参加をお願いします。申し込みは、下記で随時受け付けます。

■日時 5月23日（金）11:00～

■場所 来田保養センター

■参加費など 協会年会費 1,500円 総会親睦会費 500円

■送迎バスの運行予定

①中山、小鳥谷方面（役場マイクロバス）元宇別小前 9:30 →

高屋敷バス停 9:35 →元いわて奥中山農協前 9:40

→旧中山入口 9:43 → 東田子入口 9:48 →小繫駅前 9:50 →

道地バス停 9:55 →上平商店前 9:57 →小鳥谷診療所前 10:00

→野中バス停 10:02 →根反入口（国道）10:05 →保養センター 10:40

②鳥越、楢山方面（役場ハイエース）八木沢入口（旧国道）10:05

→川原田平（交差点）10:10 →鳥越観音前 10:12 →千本桂前 10:17 →

平船向入口 10:20 →元楢山小入口 10:23 →保養センター 10:40

③平糠、一戸方面（社会福祉協議会バス）畠山商店前 9:45 →

一戸駅前 10:15 →高齢者創作館前 10:18 →こもりスポーツ前 10:20

→一戸高校前 10:23 →保養センター 10:40

※帰り順路 来田保養センター 13:30 →行きの順路を逆に運行

【問】 健康福祉課内 町身体障害者福祉協会事務局 ☎32-3700 内線 605

相談

働く人の心とからだの 医師による無料相談

- 日時 6月12日(木)
13:00～15:00
- 場所 二戸市総合福祉センター
※新たに、医師による長時間労働者
への面接相談窓口を開設しました。
- 【問】二戸・久慈地域産業保健センター
☎23-4466

多重債務者弁護士無料相談

- 日時 5月19日(月)・26日(月)
6月 2日(月)・ 9日(月)
10:00～15:00
- 場所 二戸地方振興局 1階
消費生活相談室
- 【問】二戸地方振興局消費生活相談室
☎23-9201
- ※予約制です。前日までに電話
で予約してください。

消費者 110 番のお知らせ

多重債務、悪質商法、商品の欠陥、
その他消費生活のトラブルでお困
りの方々に、解決のお手伝いをし
ます。面接と臨時専用電話による
相談(相談料は無料)です。

- 日時 5月28日(木)・29日(木)
10:00～16:00
- 場所 県立県民生活センター
(大ホール・研修室)
盛岡市中央通 3-10-2
- 臨時専用電話
☎019-622-4560 (代表)
- ※2日間限り
※弁護士・消費生活相談員などが
対応します

健康相談室からお知らせ

- 場所 まちの健康相談室
- 時間 13:00～16:00
- 5月19日(月) 骨年齢測定
(10:00～12:00)
- 26日(月) 介護相談(～15:00)
- 28日(木) 心配事相談
- 6月3日(火) 心の悩み事相談
- 11日(木) 心配事相談
- ※毎週水曜日、13:00～16:00にフッ
トケアを開催。希望の方は、タオル
を3本持参ください。(1回3人以内)
- 【問】イコオショッピングセンター内
まちの健康相談室 ☎33-4535

二戸地区無料法律相談

- 日時 5月27日(火)、6月10日(火)
10:00～15:00
- 場所 二戸市役所※1日10人まで
- 予約受付 二戸市 生活環境課
- 【問】二戸市生活環境課 ☎23-3111
岩手弁護士会 ☎019-623-5005

交通事故でお困りの方へ

- 日本損害保険協会では、全国に
「自動車保険請求相談センター」を
設置し、交通事故の解決にお困り
の人の相談に応じています。
- 相談日時 月～金 ※祝日を除く
9:00～12:00、13:00～17:00
※相談員が無料で相談に応じます。
- 弁護士相談日
毎月第2・第4水曜日(予約制、無料)
- 相談内容 自動車損害賠償責任保
険、賠償問題の解決など
- 相談先 盛岡自動車保険請求相談
センター(盛岡市中央通 2-2-5 住
友生命盛岡ビル)☎019-651-4495

戸籍だより

(3月届出分)



名前	保護者	住所
高見 心花	重章	小鳥谷野中
花下 香菜乃	浩之	中山大塚
仁昌寺 優奈	寿也	小鳥谷仁昌寺
中村 泰成	鉄広	小鳥谷中村
田中 諒哉	浩晃	高善寺野田



名前	住所
山下 一行	小鳥谷仁昌寺
平畑 智子	
駒木 政人	中山上家向
小西 久美子	
山火 清明	一戸砂森
田頭 早苗	

ごめい福を お祈りします

名前	住所	年齢
宇田 武文	奥中山西田子	76
立花 ヨシミ	奥中山西田子	70
田村 シワ	鳥越竹林	89
関屋 富雄	西法寺関屋	61
松原 由蔵	中山西火行	90
平船 ユキ	檜山平船	79
土屋 ミツエ	出ル町稲荷田	90
白鳥 武	西法寺諏訪野	64
関根 トモ	一戸北館	70
小姓堂 金三郎	小鳥谷小性堂	81
澤村 春美	高善寺野田	41
田頭 忠治	高善寺古館平	68
中嶋 ヨシ	中山大塚	91
内澤 典子	一戸本町	58
堀内 キヨ	月館泉田前田	81
小野寺 スカ	西法寺稲荷	90
大木 ヨシ	小鳥谷高屋敷	84
小井田 美幸	一戸時前	50
姉帯 佐七郎	一戸北館	80

(敬称略)

お詫びと訂正…先月のご結婚おめで
とうの田村雅子さんは稚子さんの誤
りでした。お詫びして、訂正します。

※広報への掲載を希望しない方は届
出の際に戸籍係にお申し出ください。

★保育施設開放★

- 鳥海保育所 ☎32-2220
小鳥谷保育所 ☎34-2524
奥中山保育所 ☎35-2319
- は6月10日(火) 9:30～
一戸子供の家保育園 ☎33-2859
- 子育てサークルのびのびは
5月14・17・21・24・28・31日
9:30～ ※場所は保育園です。

■休日当番歯科医

▼診察時間：午前9時～正午

月日	医療機関	地区	電話	医療機関	地区	電話
5月18日	菅原歯科クリニック	二戸	23-1180	すがわら消火器内科	二戸	23-2879
25日	ムカイダ歯科クリニック	軽米	46-4636	金田 診療所	二戸	27-2205
6月1日	菅歯科	二戸	23-5161	むらかみ医院いたみの クリニック	軽米	48-1500
8日	小野寺歯科医院	一戸	33-3050	よこもり眼科クリニック	二戸	22-2230
15日	菅原歯科医院	二戸	29-3301	千葉耳鼻咽喉科・小児科	二戸	23-2009

■休日当番医

▼診察時間：午前9時～午後5時



まちの お知らせ ひろば2

5月

20日(火) **とことこおはなし会**
町立図書館
11:00～11:30

24日(土) **としょかん映画会**
コミュニティセンター
11:00～11:30

25日(日) **手づくり市**
いちのへ手技工芸館
10:00～13:00

25日(日) **わわわのステージ**
コミュニティセンター
13:00～15:30

28日(水) **チャレンジデー**
町内各地
0:00～21:00

6月

1日(日) **高森高原まつり**
高森高原
10:00～15:00

15日(日) **竹でバスケットづくり**
御所野縄文博物館
9:30～15:00

人の動き(4月1日現在)

人口 15,193人(-142人)
男 7,330人(-87人)
女 7,863人(-55人)
世帯数 5,841世帯(-25世帯)
()は前月比
転入 64人(109人)
転出 181人(248人)
出生 5人(20人)
死亡 18人(53人)
()は平成20年1月からの累計

イベント [問]=問合せ、申込みは

仙台フィルハーモニー ～親子名曲コンサート～

仙台フィルハーモニー管弦楽団の美しく壮大な演奏を鑑賞しませんか? 第1回芸術鑑賞教室に参加される方を募集しています。

■日時 5月18日(日) 15:30～

■場所 花巻市文化会館

■会費 大人2,300円

小中高1,300円 親子3,300円
(鑑賞費、送迎費込) ※会費は、当日、受付時にお支払ください。

■時程

町民文化センター集合 (13:00)

” 出発 (13:30)

鑑賞 (15:30)

花巻市文化会館出発 (17:30)

町民文化センター着 (19:00)

[問] コミュニティセンター

☎31-1400

書道教室を開催します



今年度は千葉幸男先生を講師に、初級・中級の方を対象とした書道教室を行います。

■日時 5月21日～7月9日の
毎週水曜日 19:00～

■場所 町民文化センター
1階 講座室

■対象者 町内在住の方

■持ち物 書道道具一式

■受講料 無料(教材費別)

[問] 中央公民館 ☎33-2111 内512

お知らせ

わわわのどお～も ロビー展示会、出展者募集!

わわわのどお～もでは年間を通して常時展示会を開催しています。

絵画展、ガラス彫絵展、グラフィック展、手芸展など、趣味で創作中の方、またグループで活動中の方など、わわわのどお～もで作品展を開いてみませんか?

■場所 コミュニティセンター

■出展期間 約2～3週間

■出展料 無料

AEDを用いた救急救命講習会

心肺蘇生法、AED(自動対外式除細動器)の取扱いと実技訓練を行います。受講された方には、講習修了証書を発行します。多数の参加をお待ちしています。

■日時 5月24日(土) 13:00～

■場所 二戸市総合福祉センター

[問] 二戸保健所 ☎23-9206

「いわて就職面接会II」開催

参加企業との個別面談、ハローワークによる職業相談、雇用・能力開発機構岩手センターによるコンピュータでの適職診断などを行います。

■日時 6月5日(木)

13:00～17:00

■場所 産業文化センターアピオ

■参加対象 平成21年3月卒業予定の大学、短大、高専、専門・専修学校の学生、既卒者及び一般求職者

[問] (財)ふるさといわて定住財団

☎019-653-8976

奥中山高原温泉

町民割引券 (H20.6.30まで有効)

この券で朝朱けの湯・煌星の湯の日帰り入浴が下記金額でご利用できます。(本券1枚につき1人有効。また、煌星の湯ご利用時に本券を使用した場合、貸しタオル、ヨーグルトはありませんので、ご了承ください。)

◇煌星の湯 ◇朝朱の湯

おとな 600→500円 500→300円
こども 300→250円 250→150円

奥中山高原温泉

町民割引券 (H20.6.30まで有効)

この券で朝朱けの湯・煌星の湯の日帰り入浴が下記金額でご利用できます。(本券1枚につき1人有効。また、煌星の湯ご利用時に本券を使用した場合、貸しタオル、ヨーグルトはありませんので、ご了承ください。)

◇煌星の湯 ◇朝朱の湯

おとな 600→500円 500→300円
こども 300→250円 250→150円

町民割引券について

奥中山高原では町民の皆さんが温泉を利用しやすいよう、左の割引券を発行します。

点線で切り取り、入浴時にフロントに提出すれば左記の料金になりますので、ぜひご利用ください。

朝朱の湯大浴場





語り合う私たちの今。

県政懇談会「草の根地域訪問『こんにちは知事です』」
達増知事と高屋敷町内会が、地域づくりを話し合う



↑ 西法寺・稲荷地域づくり実行委員会



↑ 御所野遺跡を支える会

今回の県政懇談会は、県内で地域の活性化のために自主的に取り組む団体「元気なコミュニティ100選」を対象に行われました。町内では、高屋敷町内会と上記団体が選出されています。

高屋敷町内会集会所で、県政懇談会「草の根地域訪問『こんにちは知事です』」が、四月八日行われ、達増知事と同町内会（愛木稔会長）が懇談を行いました。
知事が到着すると愛木会長が、地域づくりで整備した井戸を案内。懇談会では、集落全体の概要と、地域として取り組んでいることを知事に説明しました。次に集会所の運営や、婦人会活動、防災などに携わる住民六人がそれぞれの立場から、現状と課題、今後の展望を発表し、知事と語り合いました。
達増知事は「地域資源は暮らしたり仕事を切り拓くチャンス。高屋敷町内会では奥州街道や神楽など、本物の良さを生かした地域づくりを行っている。通学や通勤に不便はあるが、課題は、町とも検討していきたい」と話しました。

県政懇親会に参加した方にお話を聞きました

talk interview



◎防災班長
大木 勇司さん
おおき・ゆうじ

防災のことはもちろん、神楽の伝承活動についても知事が積極的に話を聞いてくれました。他地域の取り組みなども紹介してくれ、とても意義ある懇談会になりました。



◎町内会長
愛木 稔さん
あいき・みのる

知事から、私たちの本物を活用した取り組みを大きく評価していただき、とてもうれしく思いましたし、励みになりました。今後も地域の皆さんと力を合わせて取り組みます。



◎婦人会所属
野里 明子さん
のざと・あきこ

婦人会の活動と通学路の状況を説明しました。気持ちが伝わり、知事は帰りに通学路をご覧になってくれ、良い懇親会になりました。（写真は、娘の花慎ちゃんと撮影）

編集後記

今月は、戦没者追悼式に関連し、戦争体験の特集を行いました。このことは、私たちが生きる時代を考える上で、取り組まなければならないことと考えました。▼取材に応じてくださった方に、思い返すのも辛い体験を、後世に伝えるため、話していただきました。取材が続け、私も心苦しく、気持ちの重い日々が続きました。▼世界で命を奪い合う戦争が続く中、私たちは資料を見て、体験を聞き、想像することですが、戦争について、うかがい知ることができません。その体験も、歴史となります。二度と悲劇を繰り返さないために、戦争や平和に思いを巡らし、命の重さを感じてほしいと思います。（久保田）